

Table with 11 columns representing race numbers (18 to 1) and 11 rows for horse names and details. Includes names like ナカヤマナイト, アスカクリチャン, and others.

Table with 11 columns for race numbers and 11 rows for horse names and details. Includes names like 柴田善6, 三ノ宮俊, and others.

Table with 11 columns for race numbers and 11 rows for horse names and details. Includes names like 中野大, 中野大, and others.

Table with 11 columns for race numbers and 11 rows for horse names and details. Includes names like 中野大, 中野大, and others.

Table with 11 columns for race numbers and 11 rows for horse names and details. Includes names like 中野大, 中野大, and others.

本紙の見解 大きく成長ノブレス
前走の小倉記念で重賞2勝目をマークしたサトノノブレス。コーナー4回の小回りをもとめず、中団から外を回って差し切った内容に成長がうかがえた。

相本 単複連
全体に少しスタフな状態になった。これに能力全開のマイネルラクリマが、自在の先行力が強みとなる内回りにはベスト。詰めを欠いた前回の58キロから2キロ減の利も大きい。



Table with 18 columns and 18 rows of race results, including horse numbers and finishing positions.

Table titled '新潟11R 馬単' showing betting odds for various race types like 単勝, 複勝, etc.



芝の中長距離はスローばかりなので、極論を言えば大半の馬は脚を余している。そしてたまたまハイペースになると、いきなり「好時計」が出る。特にコーナー4回の二千で多い現象。一方、芝短距離(特に千二)は超ハイペースになると全体時計はかかたりするが、新潟芝千四は違う。前半が速ければ全

競馬編長の爪

10月26日の菊花賞に直結する神戸新聞杯は、6月の日本ダービーとも強く関連する。最近10年の勝ち馬のうち、4頭がダービー1着馬。それ以外の6頭のうち、5頭はダービー5着以内馬で、勝ったワンアンドオンリーだけである。そんなことは関係なく、主役はワンアンドオンリー(横山典弘騎手)に決まっているが、こ

体時計も速くなる。アルマディヴァン(新潟10R)の2走前は前半33秒4/45秒0という好ペースで、1分20秒9という好時計。しかし、2着以下でシンランマンは次走2番人気で着た。だからこの時計はアテにならないが、アルマディヴァンは内回り向きの馬ではない。内回り向きではないがハイペースのおかげで届いたということだが、内回りでも前が詰まった昇級戦(前走)④着なら上々。外回りならこのクラスも勝てる。

下の成長も確かめたい。負けられない一戦は菊花賞であり、そのための準備を整えるのがトライアル(試行)。過去10年、ダービーの勝ち馬は神戸新聞杯で「4200」不出4頭。信頼度は高い。だが、現在の体系になって60年以上。3冠馬は別にして、ダービーと菊花賞を制した2冠馬は、73年のタケホープただ1頭だけ。「皇月賞と菊花賞の2冠馬なら8頭は特別な一冠。ダービー8頭は特別な一冠。別格だからこそ熱望が存在し、そのダービーを制してしまつたワンアンドオンリーが、期待通り秋の菊花賞を制するのは、大変なことである。ダービー馬だから神戸新聞杯なんか負けていられないと、これだとして考える。陣営も、ファンも。しかし、3冠馬になるくらいはの抜けた力量馬は別に、歴史が伝える教訓は、「負けられないレースを作ってしまうと菊花賞は勝てない」と言わねばならない。ワンアンドオンリー(菊口調教師、横山典弘騎手)は、菊花賞は負けたくない。菊花賞を勝つためには、トライアルの神戸新聞杯は必勝態勢ではなくとも許されるはずである。(相木)

今日が変わり身に注目。まずはRのメガオパールカフェ。前走は大型馬が、もう1本欲しい調整。スタートもいまいちの着。ひと息入れた後の一戦として、次に繋げた内容です。今回は豊富な調教量を消化し、変わり身十分。大跳びのパテないタイプで、強気な先行策に期待します。Rはタガノエンブレム。直線一気も、ゴール前は流すほど線の余裕があった5走前の達者山特別が強烈なインパクトを残してしまいましたが、新潟外回りコースでこそ、本領発揮。1着ついで狙います。

有馬記念でハーツクライがデビューインパクトを破ったのは2005年。それから8年9カ月が過ぎようとしている神戸新聞杯で、ハーツクライの子のダービー馬となったワンアンドオンリーと、デビューインパクトの子のサトノアラジン、トリーセンスタッド、ヤマノウイザードがたまたか。この9年近い月日のあいだに、いっしょにハーツクライやダービーの走りを見ていた友だちの何人かが遠方へ行ってしまう。またそういうことを書くのかと叱られてしまうが、どうしていいかは、いなくなつて

藤本貴久の新潟10Rカウニスクッカ テレビを点けながら雑誌を見て「ハープスター」奇跡の写真公開と聞かえふと画面を見るとそこには「ハムスター」ってズコー!ちよつとした競馬空耳でした。「先行すれば簡単には止まらない」

《払戻率について》 中央競馬における勝馬投票法ことの払戻率は以下の通りとなりました ○単勝・複勝:80.0% ○馬単・3連複・ワイド:77.5% ○3連単:72.5% ○WIN5:70.0% JRA 日本中央競馬会

菊の花を制するために、大きく成長したサトノアラジンの器のほどを確認したい。歴史の奇行(突然ラチに接触)に走ったトリーセンスタッド以

下は成長も確かめたい。負けられない一戦は菊花賞であり、そのための準備を整えるのがトライアル(試行)。過去10年、ダービーの勝ち馬は神戸新聞杯で「4200」不出4頭。信頼度は高い。だが、現在の体系になって60年以上。3冠馬は別にして、ダービーと菊花賞を制した2冠馬は、73年のタケホープただ1頭だけ。「皇月賞と菊花賞の2冠馬なら8頭は特別な一冠。ダービー8頭は特別な一冠。別格だからこそ熱望が存在し、そのダービーを制してしまつたワンアンドオンリーが、期待通り秋の菊花賞を制するのは、大変なことである。ダービー馬だから神戸新聞杯なんか負けていられないと、これだとして考える。陣営も、ファンも。しかし、3冠馬になるくらいはの抜けた力量馬は別に、歴史が伝える教訓は、「負けられないレースを作ってしまうと菊花賞は勝てない」と言わねばならない。ワンアンドオンリー(菊口調教師、横山典弘騎手)は、菊花賞は負けたくない。菊花賞を勝つためには、トライアルの神戸新聞杯は必勝態勢ではなくとも許されるはずである。(相木)

今日が変わり身に注目。まずはRのメガオパールカフェ。前走は大型馬が、もう1本欲しい調整。スタートもいまいちの着。ひと息入れた後の一戦として、次に繋げた内容です。今回は豊富な調教量を消化し、変わり身十分。大跳びのパテないタイプで、強気な先行策に期待します。Rはタガノエンブレム。直線一気も、ゴール前は流すほど線の余裕があった5走前の達者山特別が強烈なインパクトを残してしまいましたが、新潟外回りコースでこそ、本領発揮。1着ついで狙います。

有馬記念でハーツクライがデビューインパクトを破ったのは2005年。それから8年9カ月が過ぎようとしている神戸新聞杯で、ハーツクライの子のダービー馬となったワンアンドオンリーと、デビューインパクトの子のサトノアラジン、トリーセンスタッド、ヤマノウイザードがたまたか。この9年近い月日のあいだに、いっしょにハーツクライやダービーの走りを見ていた友だちの何人かが遠方へ行ってしまう。またそういうことを書くのかと叱られてしまうが、どうしていいかは、いなくなつて

藤本貴久の新潟10Rカウニスクッカ テレビを点けながら雑誌を見て「ハープスター」奇跡の写真公開と聞かえふと画面を見るとそこには「ハムスター」ってズコー!ちよつとした競馬空耳でした。「先行すれば簡単には止まらない」

藤本貴久の新潟10Rカウニスクッカ テレビを点けながら雑誌を見て「ハープスター」奇跡の写真公開と聞かえふと画面を見るとそこには「ハムスター」ってズコー!ちよつとした競馬空耳でした。「先行すれば簡単には止まらない」

《払戻率について》 中央競馬における勝馬投票法ことの払戻率は以下の通りとなりました ○単勝・複勝:80.0% ○馬単・3連複・ワイド:77.5% ○3連単:72.5% ○WIN5:70.0% JRA 日本中央競馬会